

平成29年度 第6回嘉麻市公民館運営審議会

1. 開催日時 平成29年11月28日(火) 10:00～12:05
2. 開催場所 嘉麻市嘉穂生涯学習センター 大研修室
3. 公開又は非公開の別 公開
4. 傍聴人数 0人

5. 出席者

【審議会委員】

○	岡 幸江	○	大田 守	○	大山 征男	○	木下 侑則		川原田寿史
○	大木 秀一	○	樫 ひろ子	○	手島 静恵	○	森田 信代	○	赤間 秀人

【オブザーバー】

	筑豊教育事務所	上野 修司
--	---------	-------

【事務局（教育委員会）】

	教育長	木本 寛昭	○	生涯学習課長	長岡 和広
○	生涯学習課長補佐	田原 薫	○	中央公民館係長	山本 賢治
○	中央公民館係	末永 美津子	○	中央公民館係	春口 やよい
○	嘉穂地区公民館長	田中 隆	○	山田地区公民館長	松岡 一彦
○	碓井地区公民館長	福田 勇	○	稲築地区公民館長	宇佐波 吉徳

【その他】

- 公民館基本計画策定業務請負業者 ブレインファーム（中岡 裕晶）

6. 議題

- (1) 市民説明会及び分館長・自治公民館長会議報告について・・・資料を基に説明

①嘉麻市公民館基本計画(案)変更点・・・了承

- ・ 1ページ・・・・・・・・文章の見直し
- ・ 6・7ページ・・・・・・・・旧市町の蓄積内容の見直し、事業内容を追加
- ・ 8・9ページ・・・・・・・・市民説明会の補足資料を追加
- ・ 10ページ・・・・・・・・【参考】類似自治体の公民館規模を追加
- ・ 17～20ページ・・・・文章の見直し、図の追加
- ・ 26ページ・・・・・・・・【参考】県内各市の中央公民館等に関する経緯を追加
- ・ 30・31ページ・・・・市民説明会の補足資料を追加
- ・ 35～39ページ・・・・【参考資料】を追加

②市民説明会及び分館長・自治公民館長会議報告・・・了承

[山田地区公民館分館長・主事会議(平成29年10月16日)]

番号	市民のご意見・ご質問	事務局説明・基本計画案への反映
1・5	平成28年度の児童数、人口数を教えて欲しい。	平成28年度5月1日現在の資料を配布。
6	施設の見直しが必要。	【地区公民館見直し基準】に記載。
8	公民館組織体系(案)で・・・	嘉麻市の公民館の方向性の分館の組織体系図を修正。
10	今後、分館を統括するのはどこなのか。	地区公民館の役割等に記載。

[碓井地区公民館連絡協議会(平成29年10月17日)]

番号	市民のご意見・ご質問	事務局説明・基本計画案への反映
3	碓井地区が分館方式になると自治公民館は廃止になるのか。	分館・自治公民館に記載。
8	ここの地域は残す、こちらの地域は管理してください・・・	32ページの自治公民館に記載。
15	嘉麻市全体でどういった課題があるのか分析して・・・	嘉麻市の課題を記載。
16	メリット、デメリットをオープンにして欲しい。口頭で説明・・・	市民説明会では、補足資料を配布、説明。
20	少子高齢化、高齢者対策等の方向性を出していったらどうか。	高齢者事業を記載。
23 ・ 24	各地区で盆踊りの練習をしているが、地区の集会所なら・・・ 下臼井西の人権センターに行くのも億劫になる。分館が離れた・・・	30ページの分館に追記。

[嘉穂地区公民館分館長・主事会議(平成29年10月18日)]

番号	市民のご意見・ご質問	事務局説明・基本計画案への反映
3・4	資料が分かりづらいのでは。具体的なアンケート調査など・・・ 説明の仕方が分かりにくい。アンケートの結果の・・・	市民説明会で補足資料を配布。 基本計画案にも補足資料の内容を追記。

[第2回稲築地区自治公民館長会議(平成29年10月19日)]

番号	市民のご意見・ご質問	事務局説明・基本計画案への反映
3	分館方式になった場合、現在の自治公民館の管理はどうなるのか。	32ページの自治公民館に追記。
8	公民館分館制度のメリット・デメリットの説明資料が欲しい。	市民説明会の補足資料にて説明。
19・20	補助金はどうなるのか。	基本計画には入れてない。

[市民説明会<嘉徳地区>(平成29年10月27日)]

番号	市民のご意見・ご質問	事務局説明・基本計画案への反映
10	碓井の自治公民館と公民館の総数は減らないのか。	嘉麻市の公民館体系及び施設の現状の【自治公民館等の設置状況】の後に説明を追記。
11	市が所有していない施設はそのまま残るのか。	嘉麻市の公民館の方向性の自治公民館に記載に含まれている。
18	分館が出来れば、そこに集めれるとのことでしたが、大隈には・・・	嘉麻市の公民館の方向性の分館に記載に含まれている。

[市民説明会<山田地区>(平成29年10月31日)]

番号	市民のご意見・ご質問	事務局説明・基本計画案への反映
8	八女、朝倉とか1市2町とか3町で合併していますが、・・・	嘉麻市の公民館体系及び施設の現状に参考として【類似自治体の公民館規模】を追記。

[市民説明会<碓井地区>(平成29年11月1日)]

番号	市民のご意見・ご質問	事務局説明・基本計画案への反映
1	せっかく公民館を統一した形にされるのであれば、嘉麻市民全体・・・	公民館の設置目的及び実施する事業の【公立公民館で実施する事業(案)】の後に、事業例を追記。
3	活動やテーマをこんな方向でやっついこうという嘉麻市・・・	公民館の設置目的及び実施する事業の【公立公民館で実施する事業(案)】の後に、事業例を追記。
4	今後、嘉麻市でも高齢者が増えてくるので、イベントの時など・・・	嘉麻市の公民館の方向性の分館の後に、事業事例を追記。
9	公民館の運営について、横断的にものを考えていくべき・・・	公民館の設置目的及び実施する事業の【公立公民館で実施する事業(案)】の後に、事業例を追記

[市民説明会<稲築地区>(平成29年11月2日)]

番号	市民のご意見・ご質問	事務局説明・基本計画案への反映
3	自治公民館を統廃合し分館とすると移手段がなくなるし、顔の・・・	嘉麻市の公民館の方向性の分館に追記。
5	分館方式にあると交通の便が心配なので、今のまま継続できないか。	嘉麻市の公民館の方向性の分館に追記。
11	分館方式に移行した場合、雨漏り等の修繕費用はどうなるのか。	嘉麻市の公民館体系及び施設の現状の【自治公民館等の設置状況】の後に、説明を追記。

③市民説明会アンケートでのご意見等の報告

A. 公民館活動等について

○公民館の目的や活動内容が地域で様々であり、市民がそれを認知していないことを考慮して、全世帯にアンケートを取ったらどうか。

⇒市民アンケートを実施。(平成29年4月下旬実施)

○公民館活動にサポートできる方たち等の掘り起こしも重要な課題であると思われる。若い方たちのボランティア参加を期待したい。サポーターが高齢化している。

⇒若い方たちが集まるような公民館講座を実施していきながら、公民館の体系に関わってもらえるようにしていきたい。

○自治公民館の現在の活動がどう変わるのかを明示していただきたい。

⇒基本計画に記載。

C. 市への要望など

○場所と建物の問題のみでなく、今後の公民館の在り方を標準化し、男女が共に支え合える状況をつくる視点で取り組んで欲しい。

⇒男性、女性に関わらず広く意見を取り集めて事業を行っていききたい。

F. さらなる説明を望む

○一般の方にもわかるような説明や資料が欲しい。

○具体化した段階で個別に(地区別に)説明して欲しいと思う。再説明の機会を持って欲しい。その時点で再度市民の説明をお願いしたい。(早期の具体化を希望する)

⇒基本計画策定後に説明会を行う予定。

(2) 公民館基本計画(案)について・・・資料を基に説明

① 5. 嘉麻市の公民館の方向性について、追加分の説明・・・了承

○28ページ上から3行目「地区公民館は・・・活動を行います。」

⇒市民説明会にて、地域活動指導員はどういった仕事をしているのかというご質問をいただいたため、追記。

○3分館の下から6行目「本市の公民館組織体系・・・委嘱します。」を追記。

○4自治公民館の下から4行目「そのため、自治公民館は・・・検討します。」

⇒市民説明会にて、自治公民館のご質問をいただいたため、追記。

○30ページ②分館の下から9行目「また、稲築・・・考えています。」を追記。

○32ページ③自治公民館の上から3行目「自治会等の・・・行います。」を追記。

○「自治公民館の配置基準」3つ目「市が所有する・・・協議を行う。」

⇒自治公民館がどうなっていくのかというご質問をいただいたため、追記。

②補助金の内容について・・・基本計画に記載しない

・補助金については、今後地元との協議の中で決まるため、今の段階では基本計画の中に記載をしない方がいいのではないかと考えている。しかし、市民説明会でたくさんのご質問をいただいたため、記載した方が良いのか検討したい。

【質疑応答と意見】

○補助金という意味が分からない。今現状の補助金についてという事なのか、今後

の補助金についてという事なのか。

⇒補助金とは、現在交付している活動補助金のことである。

○合併当初、分館の人数とか補助金の説明があったがその事なのか。

⇒そうである。

○その活動費の補助金を公に出していいのかという事か。

⇒前々から、各地域の公民館長会議等で話が出ており、基本計画に記載していいのか検討していただきたい。

⇒補助金については、合併後、補助金の統一についての意見が館長会議で多かったと聞いている。何とか統一する方法で話し合い等を行っていたが、組織体制が分館方式と自治公民館方式と地域により違っていたため、統一が図られなかった。しかし、補助金については市全体で統一した基準にする必要があったため、金額が増えた地域と減った地域があり、減った地域からは不満が出ている。「その点を改善して欲しい」との意見がずっと出ているが、納得していただける形には出来ていない。活動が合併前の形であれば、補助金も同様に合併前の金額となっていれば良かったかもしれないが、金額だけを統一したため、不満が残る状況となっている。

今後、公民館の体制について見直しをする予定だが、それと共に活動費をどのようにするのかを検討していく。また支給するにあたり、明確な答えを見出せていないのが現状である。公立公民館なので補助金という形ではなく、必要経費を予算化するのも方法のひとつではある。しかし、使う側としては、補助金で支給された方が自由に使用できる面もあるため、組織体制がある程度固まった段階で、館長たちと協議をしていきたいと考えている。公民館基本計画の中には、補助金については入れていないのが現状である。運営費に関して、皆さんの関心が高いことは理解しており、補助金について基本計画に盛り込んでいくのか、入れないのかを委員の方々に提案したい。

○審議会のメンバーではなく、分館長として申し上げるが、確かに市民説明会で補助金はどうなっているのかと意見が出ており、そこが一番の心配事だと思う。でも、その内容に入りすぎると、基本計画の根本的な部分がだめになると思うし、むしろ組織のあり方のそのものが問われると思う。いずれにしても補助金の総額を増やす事は出来ないかと思うが、補助金を交付、支給するという程度に留め、あまり細かい部分に触れず、何も扱わない方が良いのではないかと思う。その部分辺は、ある程度事務局の方で決めて、纏めの段階で整理した方が良いのではないか。

○市民説明会では、皆さんお金のことを心配されていた。自分たちも組織体制が違うことを公民館運営審議会ですべて初めて知った。公民館基本計画の中では、分館活動、分館方式にすることを全体で進めていこうということが主旨なので、補助金のことを、あまりに大きく打ち出すと、稲築、碓井地区の方から「今まで行政区に補助金をもらっていたのに、もらえなくなると困る」という意見が出るかもしれない。嘉穂、山田から「分館は要らないから私たちの行政区に支払って欲しい」という意見が出るのではないかと感じた。稲築、碓井地区の説明会の時に「補助金や公民館が無くなるのではないか」という不安感を持っているように感じた。嘉

穂地区では、地区の公民館はそのまま残っており、具体的に言うと盆踊りの練習も地区で行っている。市が説明の時に、丁寧に説明しておけば、少し活動費が減ったとしても、現在やっている公民館活動を続けることはできるし、施設が払下げとなればそれなりに活動がやっていけるということを理解してもらえ、安心されるのではないかと感じた。

⇒施設関係についてはかなり関心があり、多くの質問が出ていた。特に碓井、稲築地区の自治公民館長からすると、「自分達の施設はどうなるのか」という意見が出ており、実際に「地元で管理している自治公民館は、今まで通り継続して管理していただきたい」と説明している。市が所有している施設に関しては、「今後市がすべての施設を管理することが困難であり、基本的に市が建てた自治公民館に関しては地元に移管していきたい」旨を伝え、地元と相談していく方向で進めている。今まで地元で所有している公民館は、修繕費、建替費等の費用を地元で負担されている。今後、施設を地元で所有することになると、施設の維持管理が出来ない地域が何行政区か出てくることは危惧している。「分館方式にするということは、市の施設1館（分館施設）を建てることにより、いくつかの行政区で使用し、地元の施設を維持できなくなった地域が分館を利用し活動をしてもらえるようにする」ことを市民説明会において説明を行った。

○分館活動をどうやって行っていくか、地元の公民館活動をどういった地域で行うのか、また金額について検討していく事が必要となる。根本は、今までの嘉麻市の公民館を統一するという事で、公民館活動を活発に行っていこうというのが目的。公民館自体でどのような活動をしていくのか詳細を出して、それに対し金額がいくら必要なのか、活動に対しての金額の精査をやっていった方がいいのではないかと。お金は交付したが何も活動をしていない、では困る。活動に対して補助金を出す。活発に行っている所はそれなりに必要だと思う。子ども会の話だが、最初は山田、嘉穂、稲築、碓井それぞれの子ども会が補助金を貰っていた。嘉麻市に統一されてからは、補助金は半分もなく、事業が今まで通りに出来なくなったので、事業内容を全部出してもらい、それに対し補助金を交付してもらい分配した。活動をされている所は応援する、活発にやってくださいと希望を持たせた形の方式がいいのではないと思う。

○補助金について、取り扱いは別途補助金の要綱なりを作成し、手続きもそれに沿っていく方が分かりやすい。それぞれが今受けている補助金に対して、何らかの経過措置で激変緩和があるのか、減額されることは予想していると思うが、それがどれだけのものか。あるいは、将来的に5年後、それに向かうがその5年間で緩やかに段階的に措置をすとかそういう話になるのではないという気がする。

⇒例えば実際に来年、再来年に組織が全部分館方式になった場合、そこから5年間で経過措置等の対応策を考える事が出来るが、合意が出来た所から進めていく形だと早く出来た所、出来てない所の差が出てくる。今、検討してはいるが、分館単位の地域に支給する金額はいくらかと決めていく形にした方がいいと思っている。そのお金の使い方については、分館の組織が出来た所とまだ出ていない所に関して、組織体制が違うためにお金の使い方をどのようにするか、それぞれ違ってくると思われる。しばらくの間は、地域に任せていく方法を取

らざる得なくなる状況も考えている。この部分については、補助金もしくは、他の自治体のように交付金等で申請された地域は、市の方から交付するという形でしている自治体もあり、参考にしながらある程度の補助をしていかなければいけないと思っている。

組織体制が出来ていくにしても、それぞれの地域に差がある。山田と嘉穂は分館という形が出来ているが、稲築と碓井に関してはこれから作っていくため、5年、10年かかってしまう。その間、皆さんに補助金をどのような形で交付するのか不平等感を与えずに出来るのか、地域の方の意見を聞きながら検討していく。予算の範囲内で激変緩和が出来るか現状では見当がつかないが、出来るだけ不満が無い形で交付していく方法で考えている。

○稲築の場合、27の行政区がある。その27行政区の中にみんな公民館を持っており、その中で活動をしている。今計画している稲築の分館制度の場合は、投票区単位で西東が各3箇所になっていく。ある行政区にはし尿処理場があり保証金が入る為、行政区によって金銭的な格差が激しい。その部分の調整は市でやってくれるのか。

⇒公民館によってお金の集め方がそれぞれ違うのが実状である。

○稲築なら運動場の上にボートレースがある関係で補助金が支給されている。それが行政区で余裕のある所、ない所の格差が激しい。その辺の調整は、市でやってくれるのか。

⇒地域に交付されている補助金等について、こちらで調節するのは難しい。活動するための金額がどのくらい必要なのかを検討して、補助金の中で賄える体制を取っていきたいと考えている。実際に活動費を持っている行政区と、持っていない行政区があるのは認識している。

○地域によっては他からの補助金があるので、市から公民館補助金をもらわなくても良いから、他の公民館と合併しない。と言われる可能性がある。そうならないように、話はまとめて欲しい。

⇒分館に纏めていくことに関しては、行政区に説明に伺う。稲築の館長会議の中でも、自分の所は参加したくないという行政区が出てくる可能性があるとの話は出ていた。市として一定の地域は1つの分館で活動してもらいたいため、年数がかかってもその行政区に伺い、その中で活動していただけるように働きかけていく。

○稲築の場合は、難しいと思うが説明をしっかりとお願いします。

○行政の方で調整するという話だが、稲築は特に今の自治公民館を単位とするコミュニティ意識が強く、想定される分館のコミュニティ意識は無い。お金の調整も大事だが、その前に新しいエリアのコミュニティ意識をどう作っていくのか、その事に対して事業やソフト的な対処がもっと大事と思う。つまり、分館がいつになるのか分からなくても、先にイベントを打つとか、そのエリアで何をどうしていくのかという事を考えることが大切だと思う。

もう一つは10年後、20年後の稲築の地域にとって、自治公民館で本当に大丈夫なのか。このまま、10年後、20年後この地域は持つのかということに住民自らが考えていく機会が必要。調整ではなく、未来ビジョンを地域でどう作っ

ていくのかを自分たちで決めて、自分たちで分館にしていかないと、持たない。覚悟できるかという所の話し合いの場をぜひ辛抱強く持って行く。説明ではなく、自分たちで決めていく、覚悟していくという事と、事業を打っていく事を並行していくことではないのかと思うし、地域がその判断していただきたい。つまり新しいエリアで何かを作っていくことなしに、地域にお願いしたいと言っても、いつまで経ってもそれは生まれまいだろうと思う。かなりしんどい作業になると思うが、市として頑張っていく。それが分館を作る意味だと思う。

⇒公民館活動については、計画の中には詳しく事業を掲載してないが、先進事例を少し掲載している。また、山田地区、嘉穂地区で今行っている事業を掲載しており、特に嘉穂地区で行っているときめき学習は、嘉麻市全体に広げている。嘉穂地区は地区公民館と分館が中心となり、すべての地区で実施されている。山田地区も分館に広げて行う方向で、稲築地区、碓井地区においてもときめき学習を分館単位の地区に広げて行いたい。その事業に協力いただける方と一緒に活動していく中で、分館での活動はどういったものなのか、活動が出来ている行政区もあるが、なかなか活動したくても参加する人が居ないなど、できない地域の方たちがこういう事業があれば自分たちも参加できるという意識を持っていただく事で、そこから新しいコミュニティが生まれると考えている。また、地区公民館に館長と地域活動指導員を配置しているので、今後地域に入り、分館活動を支援できるようにしっかりと作って行きたいと考えている。うまく地域と一緒にイベントを開催していければ新しいコミュニティが少しずつ出来ていくのではないかと思われる。市から一方的に話に伺っても、相手にしてもらえないのは理解しており、事業等も含めた所で、進めていければと検討している。

- 子ども会を維持することが難しくなっているのが典型的な例である。それを地域の問題として考えるようなことが出来たらいい。
- 稲築地区は子どもの人口が一番多いが子ども会が存続してない。行政区毎にどんどん辞めていく。行政区単位で子ども会を合併してもらいたいという話も出ている。今年、銭代坊の子ども会が復活した。公民館の分館方式で、小学校区単位で子ども会をやっていくこと。山田地区では、下山田小学校なら下山田子ども会、熊ヶ畑小学校なら熊ヶ畑子ども会という形で地域が合併してやっている。行政区単位では子どもが居ない、世話をする親も居ない、だから、分館方式で分館の公民館を中心に子ども会をしたい。子ども会のモットーは、「地域の子どもは地域で育てる」だが、現在嘉麻市では出来ていない状況である。私はこの分館方式で「地域の子どもは、地域で守る」ということで、公民館活動も子ども会のように分館方式になることを期待している。
- 具体的な課題を共有しながら、地域の中で行っていけば展望が開けそうな気がする。
- 合併当時からすれば、子ども会の会員が半分以下に減っている。どこの地域も小学校の児童数が減少しており、碓井も減少している中、碓井地区の子ども会は復活して、碓井子ども会という形で、一つの子ども会としてまとまって活動している。子どもの数から言えば、稲築西小学校536名、稲築東小学校335名、計

871名の生徒数がある。他の嘉穂小学校や碓井小学校とかは、100、200とかで、一番多いのは稲築である。ここで子ども会がしっかり出来れば、将来に繋がる流れが出来れば良いと思う。それを作るのが私の役割ではないかと思いつつ活動している。

⇒子ども会や子どもを集めるのが大変で、昨年の山田地区は、ときめき学習の活動が出来ず、今年初めて大橋分館で行った。地域の方の協力と学校の協力があり、30名くらいの子供たちが集まった。お手伝いに来ていただいた地域の方たちも、子供たちが来てくれたことをすごく喜ばれていた。ボランティアで来られていた公民館の役員の方たちもすごく喜ばれていた。そういった形で、地域と学校が一緒になり、学校の先生方の協力をいただき、地域との交流を取ることにも出来た。このように子供たちが参加できる事業を地域で行っていければ、子ども会の参加などを含め、良い方向に行くのではないかと思う。他の市町村でやっている活動を嘉穂市で活用できる事業があれば、勉強させていただきながら広げていければと考えている。

○例えば、分館では子ども会や他の団体と組んだような活動は、行われていないのか。

⇒嘉穂地区は、子ども会が活発で行政区毎の単会で行われている。

○公民館との連携はどうなっているのか。

⇒分館との連携で、ときめき学習の回数もかなり多い。そして、ふるさと探検隊などもあり、子供達も多く参加している。嘉穂市の中で、嘉穂の事業は連携がうまくいっている部分が多い。その中で、他の地域に広げていける事業があれば広げていき、嘉穂市の良い取り組みを他の地域でも取り入れて、活動が出来れば良いと考えている。また、他の市町村だけでなく、嘉穂市には実績もあり、ノウハウを持っているので、上手く広げていければ良いと考えている。ときめき学習を一番初めに嘉穂市で行っている実績があるため、それを広げていこうとスタートしたのが現状である。

○そもそも公民館は、講座を打つだけのものではなく、団体との連携や調整も大切な役割だと思うので、そもそも論に立ち帰って、行っても良いと思う。

○各々の館長、分館長たちの考えで青少年育成や高齢者しかみていない分館もあり、偏りがあるように感じる。子供に対する、青少年のための活動予算を取っていない分館もある。現状では、その統一が出来ていない。

○公民館の方向性の中で、自治公民館を当分の間残すような形で書いてあるので、市民説明会でもそういう形になったと思う。この感覚を残していれば、せっかく協議した新しい分館図の将来像を作りながら、現実には実施出来ない気がする。例えば、5年以内に分館にするなど打ち出さないと、施設がある限り使っている、ある意味では、自治公民館の体制は継続して構いませんと取れる箇所がいくつかある。

もう一つは、稲築が自治公民館27館から分館6館になり距離の問題がある。その辺は、距離がもう少し近いならという気持ちがあるので、6館ではなく8館にする等、考える余地はないのか。

⇒自治公民館に関して、嘉穂の分館は4館あるが、それぞれの地域には自治公民

館等があり、自治公民館でも活動しているのが実状である。山田の場合、自治公民館がなく集会所の形で、地域の活動は集会所で行っている。施設については、地域の方が集まる時に分館は遠くて行けないという話も出ているため、その施設を全て取り壊すのは難しいと考えている。拠点施設として、分館を設置し、出来るだけ活動は分館で纏められるものは、纏めて行って欲しい。行政区独自で昔からの活動が残っている地域もあるため、その地域独自の活動のため、今まで通りに活動していただきたいと考えている。本来、分館方式であれば、分館の建物を造り、自治公民館を全て無くしていくのが分かりやすい方も居ると思うが、不便に思う方や今まで地域で個別行っていた活動が出来ないと感じる方も居ると思うので、今の所その方向で検討している。将来10年、20年後になった時、さらに人口が減少すれば、各行政区が本当に自治公民館を維持管理していく事が出来ないなど難しい所が多くなる可能性があり、拠点施設が分館施設となると考えている。今すぐに自治公民館を無くすという事ではなく、将来を見越して分館に集約して作業を進めていく事を検討している。

- 嘉穂地区の自治公民館と稲築の自治公民館の組織体制が違う。自治公民館という言葉の定義で言えば、私たちも理解できない部分がある。嘉穂地区は、分館と別に自治公民館があり、稲築は元々自治公民館で事業をしている。その言葉の定義をある程度整理しないと分からない。そして、稲築は行政区単位で事業をしている。地域に根差した活動が大事なため、その部分は行政区長を中心にもう少し整理した方がすっきりするのではないかと思う。

⇒公民館活動と、地域活動は切っても切れない状況である。地域の方が集まって、活動をすれば広い意味での公民館活動になってくる。ただ、実際に山田と嘉穂の分館のやり方が違っており、今後、稲築、碓井を新たに分館方式にする上で、どういう形にしていくか整理する部分が出てくるのは間違いない。今後、地元で説明する中で、分館と自治公民館の区分けが出来るように検討している。今の段階で、全てが上手く行くというのは、まだ見えない部分があるため、地域の方々と話をしていき、見つけていく形にするしかないと思い、その方向で進めていこうと検討している。

- 基本計画の28ページの分館と自治公民館の方向性について書かれているが、④自治公民館で、行政からすれば踏み込み難い所だと思うが、自治公民館は元々地域の方で行っている公民館活動を行政としてサポートしていたという事であり、その切り分けをはっきりするともう少し書いても良いのではないかと思う。④自治公民館の3行目「本市の～望ましいと考えられます。」という部分の書き方がもう少し必要ではないかと思う。今後の公民館活動を全部分館に持って行くわけではないので、この書き方だと住民を主体とした公民館活動は、自治公民館でやっていただく。ただし、自治公民館は行政の活動ではなく、施設に対し今後は自治運営となるが、その事自体が悪い訳ではない。また、近隣でコミュニケーションをとるのは大事。例えば、本当はソフト面に関しては、自治公民館への情報提供は分館、地区公民館がサポートすると記載してもいいと思う。より公的な地区公民館、分館にはこういう公民館活動に移行していくと内容的に仕訳をもう少し書いた方がいいのではないか。その方が住民の方も納得すると思う。

○稲築、碓井はどうなるのか見えず、分館制度と言われても分からないと思う。利用者アンケートを各地区公民館で行った際に不満を書いたが、補助金を交付している所だけにアンケートを取っていた。山田と嘉穂についても、行政区単位で盆踊りの練習や子ども会、敬老会など、そういう事業も行っている。その部分が今回の市のアンケート集約に上がらず抜けている。地区公民館、補助金が交付されている分館、自治公民館の内容だけなので、稲築、碓井の方にとっては、分館に纏まったらどうなるのかと不安が出る。分館は、活動を自主財政で行っている部分もあり、区費も多めに出したりなどしている。もう少し市が状況を掴んで整理し、この部分はこうなるということ、分かりやすく市民説明会で言って欲しかった。活動するためのお金が出ないということの不安が一番大きい。小さな区などは、これ以上の負担が増えることが不安なのでその部分は市の財政として考えて欲しい。そして中央公民館について、市が主導権を持って地区公民館で行って欲しいという思いがあるのはわかる。4地区がまたバラバラになるので全部が同じように活動をして欲しいと思う。そして、人材を育成して欲しいので、中央公民館を無くすのはどうかと思う。活動が出来ている所はいいが、活動をこれからする分館、地区に任せると言われてもまだ不安が残る。分館長たちも全部自分たちでしないといけないという不安が出てくると思うが、その所はどうか。

⇒基本的に中央公民館の職員は残るが、施設はなくす方向である。取り纏めをする職員が絶対必要であるが、中央公民館係がやる事業は、中央公民館で必ず行うという訳ではない。活動はそれぞれの地区公民館を活動の拠点とし、市内全域の事業を行っていきたくて検討していることを、上手く説明が出来ていないのが現状である。色々活動状況が違う所もあり、簡単に説明できるものではなく、上手く説明が出来ていない。この部分の整理が上手く出来るよう検討しており、最終までまだ時間があるので、こちらの方でも検討案を提出させていただきたい。

○全市的な事業を地区公民館で実施する意味は、各4地区公民館はそれぞれ特色があり、行ってる事業が違う。例えば嘉穂地区公民館では、子ども対象事業を活発に行っているから、この成果を全市の子どもたちや親たちも参加できるようにしたい。また山田地区は、地域づくりに力を入れてきたので、そこに全市の人たちも入れるようにするという事なのか。

⇒今の所考えているのは、嘉麻市の公民館は実施している事業が多くはなく、公民館祭りや高齢者大学などの事業しか行っていない。今までは、それを夢サイトかほで中央公民館が行っていたが、それぞれ地区の公民館の持ち回りで実施してもいいのではないか。それぞれの地区公民館で行っている事業の中で、市全体で広げて行っても良い事業は、中央公民館の職員と一緒に関わり、全市的な事業に広げていくような形が取れると考えている。しかし、それぞれの地域の特色ある事業を広げていく事を具体的に出来てない。中央公民館は、夢サイトかほに併設されており、中央公民館事業は夢サイトかほを中心に行ってきたが、今後は稲築や山田で行ってもいいように、自由な発想で開催地の変更が出来るように検討している状況である。

○行きやすさなどの会場の問題か。

⇒行きやすさもあるが、開催場所を固定するより他の地域でも実施した方が、中央公民館事業を知ってもらうためにも良いのではないかと思う。

○今後検討すると思うが、あまり魅力を感じない。単なるサービスの機会均等に聞こえる。公民館はただの会場だけではなくて、思いを寄せ合って作って行く所なので、思いを寄せ合える拠点が無くなるのは結構大きい。嘉麻市としても、かなり大きな話だと思う。みんなの意識が分散してしまう事のデメリットはかなり大きいと思う。それを踏まえて本当にやるなら、しっかりやらないとまずいと思う。

○係だったら、社会教育の中の一係で終わるのではないか。社会教育が頑張っただけでいい事である。私もこの運営委員になって初めて研修など行き、公民館というのはこういうものなのかと感じた。精神的に満たされる活動をしていく部分が公民館は大きいと思う。中央公民館全体で意識の改革みたいなものをどうにかならないのか。例えば、江迎公民館では分館の館長たちが、しっかり活動されていた。いくつかの項目があり、年度ごと実施できた。評価まで行っていて、すごいと思った。

○稲築の分館は6地区。選挙の投票区という事だが、どこに建てるとかの絵は出来上がってるのか。

⇒場所については、未定である。地域に市の公共施設があれば、そこに併設出来るようなあれば、併設する方向で検討を行う。地域と話をしていく中で、市としては市有地で考えている。土地に関してはそれなりの大きさが必要であり、どの地域からでも集まりやすいというのがベストだと思うが、まだ調査が出来ていない状況。今後は、地域の方々と話をしながら検討する。また、市が一方向的にここに建てるという話はしないので地元と協議の上、決めていきたい。

○補助金の細かい所は載せない方が良いのではないか。

○補助金は交付するので、細かな部分まで記載の必要はないのではないか。

○それぞれの公民館で、公民館費を徴収している所もある。行政区から補助金を出している所もある。収入源は様々なので、触れない方が良いのではないか。行政区各々に違いがあるので、今後とも支給するという部分を記載するだけで良いのではないか。説明会では、皆さんが補助金の事を一番心配されていたから記載した方が良いというのは分かるが、根本的な基本計画がぼやけてしまうのではないかと思う。あとは、事務局で検討されてはどうか。

○市から補助金が出ている部分と現在の部分は出してもいいのではないか。

○図が分かりづらい。

○行政区ごとでの世帯割り、均等割の金額とかを載せたらどうか。

○行政区ごとの金額を記載すると、問題になる。

○地区別実態調査で補助金が出ている所と、管理している部分を入れた方がいいのではないか。ただ山田、嘉穂地区の行政区は載ってないので、そこをどうするのか。この文章を図に表したのがあればいいと思う。

○補助金の金額について、きっちりと出して欲しいという意見が出ていたのか。⇒今後どうなっていくのかという意見が出ていた。

- 9ページの施設の維持管理について、こういう記載でいいのか、それとも、維持管理の所で、活動補助金の事に触れた方がいいという事なのか。
⇒施設の維持管理ではなく、活動補助金について記載した方がいいかどうかを伺いたい。
- 補助金の調整の仕方や金額について言いたいところであるが、自治公民館のソフトという部分を今後行政としてどのように考えていくのか。自治公民館を無くそうとしている訳ではなく、活動補助金は出すが、その金額を調整して出すという事なのか。
⇒基本的に自治公民館への活動補助金は出さない方向である。自治公民館を分館に纏めるので、施設だけではなく、活動補助金も無くす方向で考えている。
- 計画に山田と嘉穂の分館は書かれているが、嘉穂にある行政区公民館の事が書かれていないため、そこに、補助金の交付がない事を稲築、碓井が分からないのではないかと。廃止されると思われており、記載するならば、現在の「0」という所に記載するほうがいいのではないかと。
- 山田と嘉穂の分館と同等にしていくという事を記載しては。
- 山田では均等割と世帯割、この比率はどうなのかということも問題視されている。均等割が良いのか、その他のやり方が良いのかと色々意見はある。補助金については皆さんの意見を聞いて、交付要綱を作るという事ではいけないのか。
⇒補助金について、稲築、碓井の市民説明会で意見が出ており、他の地域で交付されていないことが理解されていないため、補助金が無くなるイコール自治公民館が無くなると思われていた。そこで補足説明として分かりやすくするため8ページの内容に付け加えた。自治公民館は、何人でも設置出来るという行政区等の自主組織で運営している旨を入れている。ただ、それだけだと分かりづらく、うまく整理できれば基本計画に入れていきたい。また具体的な形になれば、難しくなると思われるため検討をしていく。どういう形になるかわからないが、ご了承いただきたい。

③稲築と碓井に設置する分館数について・・・基本計画通りで了承

- ・市民説明会、館長会議にて、分館の範囲を選挙の投票区とし稲築6、碓井2で検討している旨を説明した。また、基本計画にも記載している。別の視点から考え、設置を検討したらどうかという意見も出ていた。

事務局の方向性としては、新設、併設で考えており稲築6館、碓井2館で建設を検討している事に対し、意見をいただきたい。

【質疑応答と意見】

- 小学校区で稲築東小学校と西小学校では、大きすぎるという事で、投票所の6つという事になったのか。最初は、2つでとなっていたと思う。
⇒将来的には小学校区で設置するのが望ましいが、現在自治公民館の活動が多く、対象区域が急に大きくなることを避けるため6つとしている。
- 施設としては、中規模くらいで施設を増やすのか。

- ⇒急激な変化を避けたいため、段階的に行う。あまりにも地域から外れると、地域コミュニティが無くなるため。
- 地域コミュニティを段階に分けると、逆に負担が大きいと思う。せっかく作ってきたのにまた大きくすると、今回の変更で10年、20年とかなり長期的に見直さないと住民の負担が大きいのではないかと。根拠が、なぜ選挙区なのか、日常の付き合いのレベルで選挙区がどれだけのリアリティがあるのか、地域の歴史的経緯とか、今の生活圏とか。当然、住民の方から意見が出ると思うがその辺を踏まえて、一番適正な場所に持ってくる。日本の場合、公民館は地域コミュニティの中核になってる部分もあるため、一定のリアリティがあると思う。単なる公民館というのは、これからの地域編成を作っていくというものを考えた方が良いのではないかと。
 - 分館が増えれば、その分職員も増える。今、嘉麻市は地域活動指導員が多く配属されているが、田川市は少なく、1人、2人くらい。嘉麻市の地域活動指導員は何人か。
⇒全体で、16人おり、公民館の関係は5人である。
 - その人数ですといくのかが、疑問に思う。他の所と比べ、県の配分が嘉麻市は多く、ずっと続けられるか心配である。あまり職員が増えると負担が出てくるし、このままだと分散される。
 - 分館は非常勤だから、普通は在席していない。
⇒山田の施設は、社会教育施設と併設のため管理人を配置しているが、基本的には分館は単独施設である。嘉穂の施設には管理人が居ない。分館の運営については、今後どうするのかを検討していく。また、地域のコミュニティをどのように作っていくのか、実際、小学校区には子ども会の活動やPTAの繋がり等、学校でのつながりがあり行事が行いやすい。地区で分けていると分館が複数あるために別になってしまうデメリットがある。稲築は27ある自治公民館を小学校区にわけて分館2館にするには、かなりの無理があると考えている。選挙区を単位として分館にすることについて、地元の方に話を聞きたい。旧稲築町は、7村合併しているが投票区では6に区分けされており、今の稲築は6地区の方が地域に根付いている。稲築の6地区は、参加しやすいエリアと判断し、6地区と提案させていただいた。
 - 碓井の2つの分館は、今ある施設を使うのではなく建替えるのか。
⇒今ある建物が、使用できればその建物を増改築し、分館として利用することを検討している。現在の碓井地区公民館は、碓井人権啓発センターあかつきの隣に設置されており、新庁舎が出来れば碓井庁舎に碓井地区公民館が移る計画となっている。そうなれば、今の碓井地区公民館(旧千歳会館)をそのまま分館として利用し、新設しない方向で碓井地区自治公民館長会議で相談させていただいた。
稲築については、併設する公共の施設がないため、他の施設に併設させて貰えないかの相談をしていく。もしくは、新たに建物を新設する形になるかと思う。
 - 今ある建物を利用するのかと聞いていた。大隈分館は活発に活動をしてるけれど、

施設が壊されるので、あとをどうするのか分からない。

⇒施設の新設は全ての施設ではないが、稲築の公民館はほぼ耐用年数が過ぎていく状況で、そのまま利用出来ず建替えとなる。嘉穂の場合も、分館が耐用年数を過ぎていっているので建替えが必要と考えている。市としては公民館活動に併せて、施設をどうしていくのかも検討していく必要がある。また経費的にもお金が掛からない方向で、地域をどのようにまとめるのかも相談したい。

○経費が掛からないようにしないとイケない。借金抱えて造るのはどうかと思う。

○後で、しなければよかったなどにならないように10年、20年先と長いスパンで見ていかないとイケないのではないかと考える。

⇒今後、公民館にはコミュニティ施設、避難所、投票所という機能が必要になる。それぞれの地域に公的機関の施設を置き、その機能のある程度併せ持った中で、公民館活動により地域の方々が集まれるような形になるのが理想であり、将来的には5年後、10年後にその議論になるかと考えている。そのための拠点施設になり、そのための地域づくりを公民館から進めていくのがひとつの方法と考えている。

○分館が稲築2、碓井6になれば、基本的にそれに沿っていく事になるのか。この計画はいつまでに仕上げるのか。

⇒基本計画は本年度中に出来上がる。

○色々な公民館大会に行った時に、大体1,000～1,500人くらいの規模の分館の活動が活発だった。稲築の現在の人口は17,000～18,000人くらいとなっているので、6ヶ所で3,000人～3,500人になると思う。本当に公民館に求められる事業をするためには、稲築の歴史、文化の違いもあるので、どうすれば良いかを考えてもらいたい。もし人出が少なければ当分の間、何ヶ所かと一緒にするなどの考え方で行かないと、これで決定して進めていくのはどうなのかと思う。稲築の状況が分からないが、3,000世帯を超したら、全く伝統も違う、文化も違うその中で一緒に行うと言っても、形にはなるが中身がお粗末な分館事業になるのではないかと考える。事務局は大変だと思うが、これを纏めるまでに稲築、碓井に事務局の案と、地元の意見を交換し見つめる必要があるのではないかと考える。そういう所をよく理解出来ずに良いよとは言えない。事務局は大変であるが、頑張ってください。

⇒他の方法として、分館の数をはっきり出さない方法もある。ただし、出さない方法をとれば、分館に纏めるのが遅れると思い、明確な目標数値として稲築6館、碓井2館の数値を計画の中に明記した。この数値が本当に適切かは、自信を持って言えないが、やはり他の地区の状況と比較した際、大隈分館は5,000近い規模であり、稲築も大きな規模になる。大橋分館、下山田分館も2,500～3,000近い規模である。稲築が6分館になるように試算すると、稲築だけが突出して世帯数の大きい分館規模になることはない。計画を実行に移すにはこの範囲で纏めたいので、明記したいと事務局としては考えている。

④追記について・・・了承

・住民の方から、「男女共同参画の視点をもって公民館活動を行って欲しい」と

意見が出たので、公民館基本計画の中に入れさせていただければと思う。次回会議の中で、提案したい。

- ⑤地区別、小学校区別児童数の表について・・・両方とも嘉麻市の現状として記載する
・2、3ページについて、基本計画に入れる予定で表を作成していたが、ボリュームが大きくなり過ぎることもあり、削除した。代わりに【表2】の中で人口指数を出しているが、小学校区の人数が必要であれば改めてこちらに記載したいと思う。入れた方がいいか、入れない方がいいかご意見をいただきたい。

【質疑応答と意見】

○ボリュームが多いという事だが、現実の数値を入れた方が嘉麻市の現状がわかっていいと思う。

○入れてもらった方が良いと思う。

○両方とも入れた方がいい。

⇒嘉麻市の現状として、ここ10年の数値を計画の方に入れるよう検討する。

(3) その他

1) 今後の会議及び研修会等について

平成29年12月18日(月) 「筑豊地区公民館職員研修会」(香春町町民センター)

平成29年12月21日(木) 「嘉麻市公民館職員等研修会」(夢サイトかほ)

- ・発表内容 山田地区大橋分館の活動内容について
嘉穂地区大隈分館の活動内容について

- ・18時から交流会を実施予定

平成30年2月9日(金) 「福岡県公民館実践交流会」(飯塚コスモスコモン)

2) 次回の公民館運営審議会について

平成29年12月26日(火) 第7回公民館運営審議会(夢サイトかほ)

- 11月21日に開催された「カレーの日」について

公民館運営審議会の先進地視察で研修した佐賀県の「カレーの日」、この事業を大隈分館主催で11月21日に開催した。約150名の方にお越しいただいた。当日は、天気にも恵まれ、参加者は隣の席の方とお話をしながら楽しく食事をしていました。今後とも、嘉麻市を盛り上げていくために審議会委員の方にご協力いただきたい。

7. 配布資料

- ・【資料1】分館長・自治公民館長会議(P.1~P.20)

公民館の将来像についての市民説明会(P.21~P.36)

市民説明会アンケート(P.37~P.39)

上記のとおり相違ないことを確認する

平成30年3月30日

会議録確認者氏名 大田 守